

知立市	所属議員 杉浦 弘一																									
【活動選定項目】 国・県・市町で連携して取り組むテーマを設定	<p>① カーボンニュートラル(CN)への対応 (エネルギー政策、水素社会、電動車)</p> <p>② 誰もが自由に安心して移動できるモビリティ社会の実現</p> <p>③ 自動車整備士・ドライバーの更なる魅力向上</p>	<p>④ 地域への貢献活動 (例:部活地域移行、ボランティア団体の後継者育成)</p> <p>⑤ 子育て支援策</p> <p>⑥ 行政のDX推進施策</p> <p>⑦ 人手不足解消への対応(多様性や多文化共生への対応など)</p>																								
具体的活動 (調査・研究含む)	<p>1. 低炭素なまちをつくる</p> <p>(1)低炭素なまちづくりの展開 □首長誓約による広域連携・・・一般質問にて「ゼロカーボンシティ宣言」を提案 ▶首長が「ゼロカーボンシティ」を宣言 (R4/3月定例会) □知立市・刈谷市・民間事業者による新電力会社の設立⇒電力供給開始 (R5/7月～) □ボトル to ボトル事業の提案 (R4/12月定例会) ⇒事業開始 (R5/4月～) □次世代自動車のサブスクに対する補助金の提案 (R4/12月定例会) ⇒事業開始 (R5/4月～) □バイオマスゴミ袋の導入⇒店頭販売開始 (R4/12月～)</p> <p>(2)再生可能エネルギー導入の促進 □住宅用太陽光発電システム設置に係る補助⇒拡充 (R6/4月～) ⇒増額補正 (R6/6月定例会) □市有資産を活用した太陽光発電設置・利用 ⇒公共インフラ空間を活用した太陽光発電設備設置の提案⇒事業検討開始 (R5/4月～)</p>	<p>【図や活動の様子が分かる写真など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化対策設備補助事業 <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備名</th> <th>補助単価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>太陽光・HEMS・蓄電池</td> <td>46万円</td> </tr> <tr> <td>太陽光・HEMS・V2H</td> <td>11万円</td> </tr> <tr> <td>【ZEH】</td> <td>16万円</td> </tr> <tr> <td>家庭用エネルギー管理システム(HEMS)</td> <td>8千円</td> </tr> <tr> <td>定置用リチウムイオン蓄電システム</td> <td>40万円</td> </tr> <tr> <td>家庭用燃料電池システム</td> <td>5万円</td> </tr> <tr> <td>電気自動車等充電設備(V2H)</td> <td>5万円</td> </tr> <tr> <td>住宅用太陽熱利用システム</td> <td>自然循環型 3万円 強制循環型 7万円</td> </tr> <tr> <td>燃料電池自動車(FCV)</td> <td>20万円</td> </tr> <tr> <td>電気自動車(EV)</td> <td>5万円</td> </tr> <tr> <td>プラグインハイブリッド自動車(PHV)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設備名	補助単価	太陽光・HEMS・蓄電池	46万円	太陽光・HEMS・V2H	11万円	【ZEH】	16万円	家庭用エネルギー管理システム(HEMS)	8千円	定置用リチウムイオン蓄電システム	40万円	家庭用燃料電池システム	5万円	電気自動車等充電設備(V2H)	5万円	住宅用太陽熱利用システム	自然循環型 3万円 強制循環型 7万円	燃料電池自動車(FCV)	20万円	電気自動車(EV)	5万円	プラグインハイブリッド自動車(PHV)	
設備名	補助単価																									
太陽光・HEMS・蓄電池	46万円																									
太陽光・HEMS・V2H	11万円																									
【ZEH】	16万円																									
家庭用エネルギー管理システム(HEMS)	8千円																									
定置用リチウムイオン蓄電システム	40万円																									
家庭用燃料電池システム	5万円																									
電気自動車等充電設備(V2H)	5万円																									
住宅用太陽熱利用システム	自然循環型 3万円 強制循環型 7万円																									
燃料電池自動車(FCV)	20万円																									
電気自動車(EV)	5万円																									
プラグインハイブリッド自動車(PHV)																										
選択した項目 テーマ <u>①</u>	<p>2. 低炭素な暮らしを営む</p> <p>(1)家庭における省エネの推進 (2)低炭素な移動の推進 □住宅省エネ化に関する普及啓発 □住宅省エネ設備設置に係る補助 □次世代自動車導入に係る補助 □電気自動車充電スタンドの設置及び補助</p> <p>3. 低炭素な事業活動を営む</p> <p>(1)事業者における省エネの推進 (2)低炭素技術開発等の促進 □事業活動における環境認証の取得支援・促進 □業務施設の省エネ対策支援 ⇒事業者への省エネ補助事業の提案 (R4/12月定例会) ⇒補助事業開始 (R5/4月～) □事業所等に対する情報発信・PR</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック製品一括回収事業 <p>令和7年3月まで</p>  <p>可燃ごみ、プラスチック製容器包装ごみ、不燃物として回収</p> <p>令和7年4月から</p>  <p>一つの袋にまとめて入れ、全てプラスチックとして一括回収</p>																								
今後の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・地域新電力会社の電力供給状況の確認 ・「ボトル to ボトル事業」、「次世代自動車(サブスク)に対する補助金事業」、「事業者への省エネ補助事業」の進捗状況の確認 ・「プラスチック製品一括回収周知啓発事業」の進捗確認 (R6/6月定例会) 																									